



月齢の近い子のママたちが集まって

港南地域の高層マンションの一角。はしゃぐ子どもの声とママたちのおしゃべりが聞こえてきます。

港南ハピママ会は、保健所の「うさちゃんクラブ(生後2~3ヶ月以内)」で知り合った地域的に近いメンバーで集まったのが始まりです。その後、近所のママ友にも声をかけて、定期的な集まりになりました。

「最初は近くの公共施設に集まったのですが、月齢が少し上の、歩き始めた子に気をつけながらおしゃべりするのは大変でした…」そこで、近くにあるマンションの集会室を利用して、サロン活動としてスタートしました。



みんなが集まるまで、スクリーンに子ども番組を流しています。子どもたちも友達と楽しく踊っています。

サロンはリフレッシュの場

開催日はSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用して周知。参加した人が、新たに友達に声をかけて誘ってくれるので、仲間もどんどん増えています。

「親子で40~50名になることもあります」と話す代表の深川さん。「毎回の買出しやイベント時の準備など、参加者それぞれができる部分を手伝ってくれます。何よりも、サロンで会ってみんなと話すことが、私にとってもリフレッシュの場になっているんです」と話しているのが印象的でした。



受付をする人、食べ物を準備する人、分担しながら準備をしています。

子どもと共に成長して

サロン開始から1年が経ち、初めは生後5~6ヶ月だった子どもたちが、今では活発に動き回っています。

「仕事に復帰したので、普段は来れないけれど、今日はたまたま休暇だったので、久しぶりに遊びに来ました」と話すママもいました。土日に開催するときは、復職したママたちも参加して、久しぶりの交流を深めているそうです。

他の子どもの成長を一緒に見守りながら、ママたちは子育ての悩みや地域の情報などを話すことで、リフレッシュ。そんな関係が、子どもの成長と共にずっとつながってほしいと思いました。



情報交換の輪がたくさん！
同じ年齢だと、相談したいことも同じなので、会話が盛り上がります。